

パブリックコメント「南相馬市立病院経営強化プラン（素案）」に寄せられた意見等と市の対応方針

募集期間 令和6年2月16日（金）から令和6年3月6日（水）まで（20日間）

地域協議会 小高区：令和6年2月29日（木）、鹿島区：令和6年2月19日（月）、原町区：令和6年2月26日（月）

意見等総数 21件（意見8件、質問13件）

No	意見提出者	意見等（要約）	回答内容	
			対応区分	市の考え方
1	パブリックコメント	患者から診療依頼があった場合には、担当科があって担当の先生がいる場合には、できるだけ受け付けてほしい。	ご意見	市立病院では、診療を希望される患者様については緊急度、重症度を判断したうえで、受け入れできるよう取り組んでおります。 なお、市立病院だけで地域医療の提供を完結させることは難しいことから、県・市・市立病院を含む地域の医療機関が連携し、地域での医療連携の強化に取り組んでまいります。
2	パブリックコメント	市立病院の業務に、予防医学の1次予防である健康増進の啓蒙を加えていただいて、医学的見地から南相馬市の健康福祉部と一緒に指導していただきたい。	ご意見	市と市立病院が連携しながら対応を検討してまいります。 なお、総合病院では2次予防の「早期発見・早期治療」において健（検）診・人間ドックを充実させ対応しております。
3	パブリックコメント	医師・看護師等の確保と働き方改革について、エンゲージメントの取組みが重要であると共感する。それが働く意欲にも影響するし、何より接遇にも影響してくると思う。 職員の満足度を把握するためにも調査が有効であると考えている。	ご意見	医師・看護師等の確保にあたっては、職員の満足度を上げていく取組みが重要であると考えます。今後、職員の満足度の把握に努めます。
4	パブリックコメント	地域の診療所（クリニック）の減少、開業医師の高齢化により、外来患者の受入れに限界が来ている。市立病院には地域の実情に合わせた役割を果たしてほしい。	ご意見	病診連携を図りながら、地域の実情を踏まえた、市立病院の診療体制の整備に努めてまいります。
5	小高区地域協議会	総合病院の接遇について、もっと患者さんに向き合った対応をしてほしい。	ご意見	接遇については「市立病院理念」にも定めているとおり、患者さんやご家族に寄り添った接遇に努めてまいります。
6	小高区地域協議会	経営形態の見直しについて、市立病院はどこを目指すのか。また、移行した際に職員は「市の職員」から変わるのか。あわせて経営形態が変われば黒字が達成できるのか。	ご質問	地方公営企業法の全部適用の移行を前提として経営形態の見直しに取り組んでいく方針です。また、移行しても職員の身分は変わりません。市立病院は不採算医療も担っており、経営形態を変えただけで黒字になるわけではないので、目標を立ててしっかり取り組んでいきます。

No	意見提出者	意見等（要約）	回答内容	
			対応区分	市の考え方
7	小高区地域協議会	許可病床300床のうち230床稼働しているとのことだが、その稼働率はどれくらいか。また、230床受け入れられる医療スタッフは確保できているのか。	ご質問	令和5年10月以降は一般病床180床の稼働率は8割と高くなっています。医療スタッフは人数はいますが、若手のスタッフが多いことから、育休を取っている看護師も多く、必要な働き手は充足していないというのが現状です。
8	小高区地域協議会	現在、午後も診療している診療科はどれくらいあるのか。また、午後診療に関して、医師会との制約は無いのか。	ご質問	患者さんの要望に合わせて循環器科、消化器科、血液内科などが機能を限定し、午後にも診療をしています。 本来は、入院と外来の役割分担が必要だと思いますが、地域に不足する診療科については、要望により午後も一部外来診療をしている状況です。 医師会との話し合いは実施しており、午後診療をやめてほしいという話はありません。むしろ、開業医師の高齢化や、震災で閉院したクリニックがあるなど、これ以上の受入れは厳しくなってきているというお話は伺っております。
9	小高区地域協議会	経営形態が変われば、職員の給与面はどうなるのか。また、効率的に運営していくという面では、内部的に効率化できるような仕組みを考えているのか。	ご質問	全部適用になれば、給与など独自に設定することが可能とはなりますが、国では医療従事者の処遇改善を打ち出しており、給与を押さえるのは難しい状況ですので、収益を上げていくことを考えております。 効率化では、それぞれの職員の仕事量を平準化できるようにするなど、引き続き取り組みます。
10	鹿島区地域協議会	地域的にかなり後期高齢者が増えており、医療に関しては物凄く大事な部分である。 そういう中で、我々は地域にある病院をあてにするしかないで、きちんとした対応が求められるし、それが地域の安心感にもつながるので、そういう面で様々な施策を実行していただきたいと思う。	ご意見	市立病院では、市民の皆様に安心していただけるよう、「地域連携に努め、地域で完結できる医療・救急体制の中核を担う」ことを目指してまいります。
11	鹿島区地域協議会	南相馬市における一人当たりの医療費が高額になっていると新聞で目にした。どのような状況か教えてほしい。	ご質問	医療費の現状については、資料を持ち合わせておりません。
12	鹿島区地域協議会	がん患者が多くなっていると感じる。がん患者の受入について、市立病院ではどうか。	ご質問	市立病院の役割としては、標準的ながん診療の対応となります。相双医療圏全体としては、専門的ながん診療を行う拠点施設が今は無い状況なので、圏域外の病院で診療を受けざるを得ない状況にあるという認識です。
13	原町区地域協議会	救急の受入れを強化してもらいたい。そういう体制づくりが必要ではないか。	ご意見	「市立病院で診ることができる患者さんは断らない」を徹底してまいります。

No	意見提出者	意見等（要約）	回答内容	
			対応区分	市の考え方
14	原町区地域協議会	医療費の増大につながらないよう、乱診・乱療となるのを防いでほしい。	ご意見	乱診、乱療に対する評価はレセプト請求における保険者による返戻・査定が基準となっています。市立病院では、返戻・査定が標準の範囲内にあることから、乱診・乱療は無いものと考えております。市立病院では、診療所等からの紹介患者の受入や、消防からの救急受入れ要請に対応しながらも、適正な診療に努めております。
15	原町区地域協議会	地方公営企業法の現在の一部適用と、全部適用の大きな違いは何か。	ご質問	一部適用では設置者である市長がいて、病院には院長がいるということで、経営に関する責任の所在が曖昧になっていることがあります。これが全部適用になると、運営責任者として事業管理者を置き、その責任のもと運営をしていくということになります。また、職員の身分・給与体系や予算決算、契約など病院の方で進めることができるようになり、運営の効率化が図られるものと捉えております。
16	原町区地域協議会	効率化、黒字化を意識しすぎて、患者に負担とならないように取り組んでほしい。また、全適化は国の方針だと思うが、こだわりすぎることは無いと思うが。	ご質問	経営の課題から効率化、生産性の向上に努めますが、併せて患者さんの満足度が下がらないように取り組みます。また、全適化により、現場に近いところに責任者を置くことができることで、職員の意識も変わることを狙いつつ、経営改善に取り組む必要があると考えております。
17	原町区地域協議会	改革プランの取組みの中で小児科入院が再開されているが、どのような患者を受け入れているのか。	ご質問	小児については感染症患者が主なものと捉えています。これまで、総合病院の小児科常勤医師は一人体制でしたが、複数医師の体制になったことで、入院受け入れができる体制となっています。
18	原町区地域協議会	回復期リハビリテーションが開始できない要因は何かあるのか。	ご質問	回復期リハビリテーションは老朽化対策工事と合わせて実施することとしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の対応を優先的に進めてきたこともあり、実施できませんでした。
19	原町区地域協議会	改革プランの中では「民間医療機関とのネットワーク化」という話があったが、経営強化プランでは見当たらない。ネットワーク化されたから見られなくなったのか。	ご質問	今回のプランでは「民間医療機関とのネットワーク化」を、「役割・機能の最適化と連携の強化」で整理しており、県の医療計画でも市立病院の役割は決まっており、きちんと果たしていくこととしています。
20	原町区地域協議会	小高診療所が有床化されても、救急は診れない。病床のあり方について市民の意見を聞くことが必要ではないか。	ご質問	救急患者は総合病院へ搬送し、診療所では在宅をメインに、病院と施設間の患者さんを診られるような有床診療所を検討しています。病床再編計画策定時のアンケートでも病院がないと不安という声もありました。今後市民が何を求めているか確認しながら進めていきたいと考えます。
21	原町区地域協議会	小高診療所が有床化したら「看取り」を行うと記載があり、最期の場所というイメージを持ったが、そうなのか。	ご質問	現在も在宅診療を行っている患者で、介護事業所と連携しながら、医師や看護師が患者宅を訪れ看取りをしています。有床化となっても看取り含めた在宅医療に対応してまいります。